

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月22日

新潟市長様

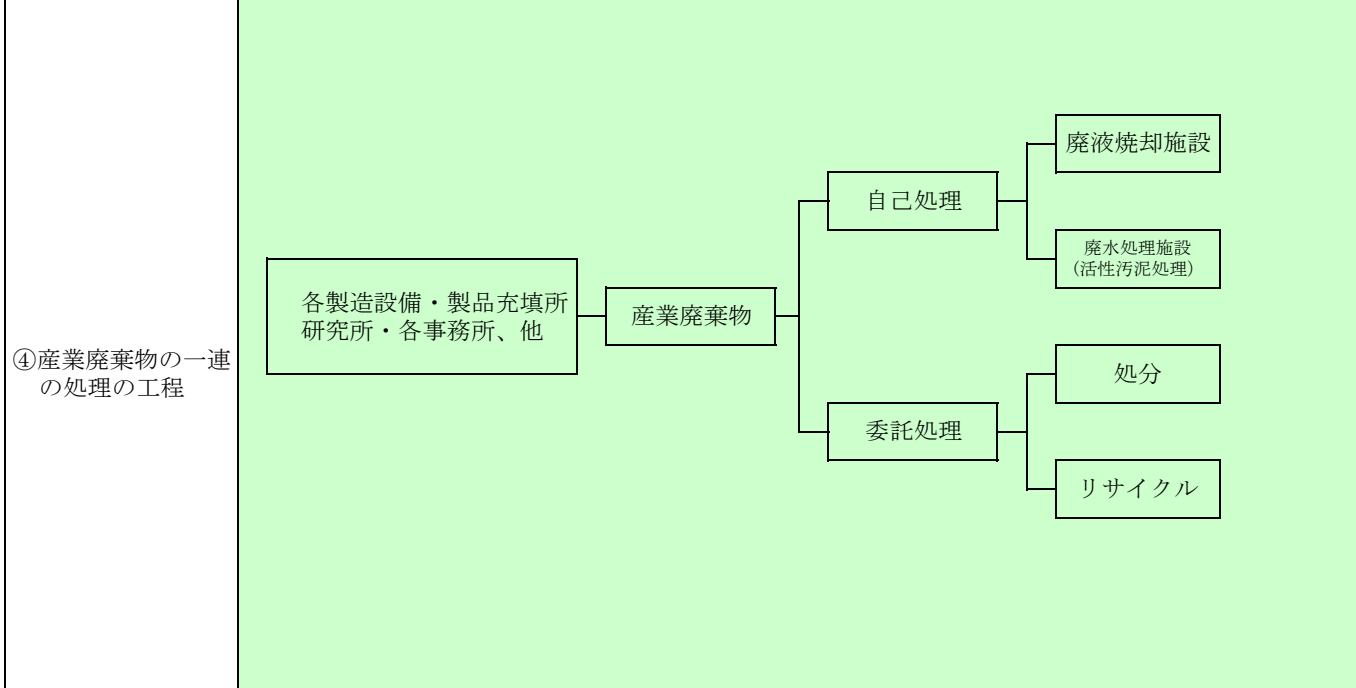
提出者
住所 新潟県新潟市北区松浜町3500番地
氏名 三菱瓦斯化学株式会社
執行役員新潟工場長 橋本 晃男
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 025-259-3945

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三菱瓦斯化学株式会社 新潟工場
事業場の所在地	新潟県新潟市北区松浜町3500番地
計画期間	令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで

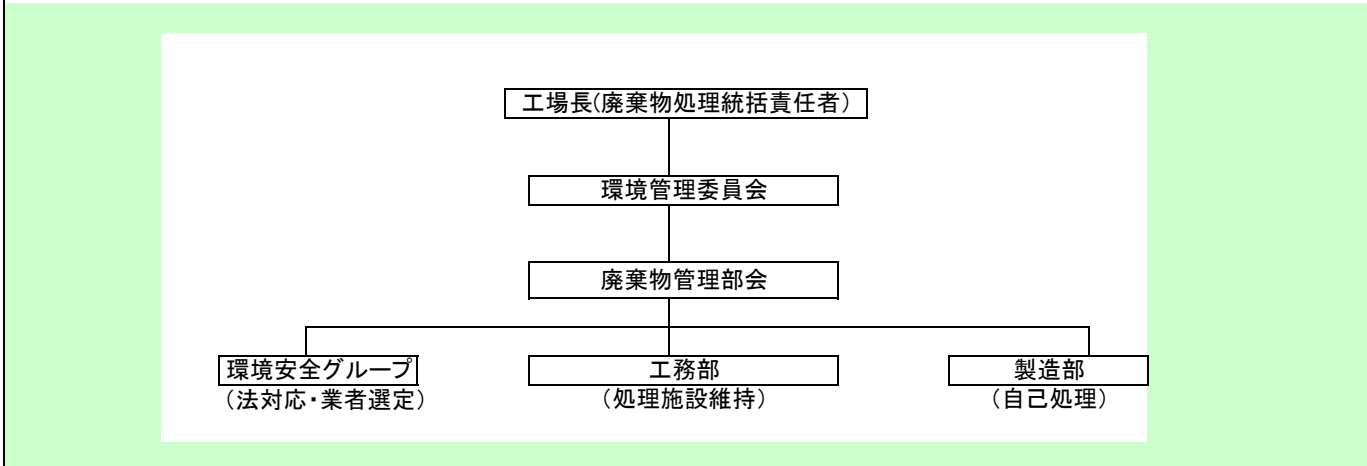
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	化学品製造業
② 事業の規模	57,635百万円
③ 従業員数	471人



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 (令和4年度) 実績】

① 現状	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず
	排出量	5.60 t	306.22 t	765.33 t	3.63 t	207.46 t	372.32 t	29.72 t	0.03 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	非金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物				
	排出量	0.57 t	12.16 t	2.77 t	5.95 t				

(これまでに実施した取組)

- ・ 廃棄物発生量を各装置・工程ごとに把握し、原材料包材・プロセス・工程・包装出荷形態の見直しを行い、廃棄物発生量の抑制を図る。
- ・ 確実な運転管理を通じて突発停止、トラブル防止、触媒寿命の延命などを行い、廃棄物の削減を進める。
- ・ リサイクル、有価取引を増やすアクションプランを策定し、実行する。
- ・ 廃棄物原単位の改善に取り組む

【目標】

② 計画	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず
	排出量	2.00 t	393.90 t	1,378.50 t	0.00 t	2,414.60 t	248.30 t	21.40 t	12.70 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	非金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物				
	排出量	0.50 t	0.00 t	18.40 t	6.10 t				

(今後実施する予定の計画)

これまでに実施した取り組みの継続

産業廃棄物の分別に関する事項

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

①
現状

- ・ 可能な限り詳細な組成・性状・危険性等の情報に基づく分別
- ・ 過去の処理実績の確認
- ・ SDSの添付と容器シールの貼付による分類を徹底する
- ・ 排出物の性状による安全な作業方法の検討

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

②
計画

現状の取組を継続する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（年度）実績】		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず
① 現状	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器	非金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
① 現状	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器	非金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（年度）実績】		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず
① 現状	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器	非金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物				
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
① 現状	産業廃棄物の種類								
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器	非金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物				
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
① 現状	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器	非金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
① 現状	産業廃棄物の種類								
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器	非金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物				
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

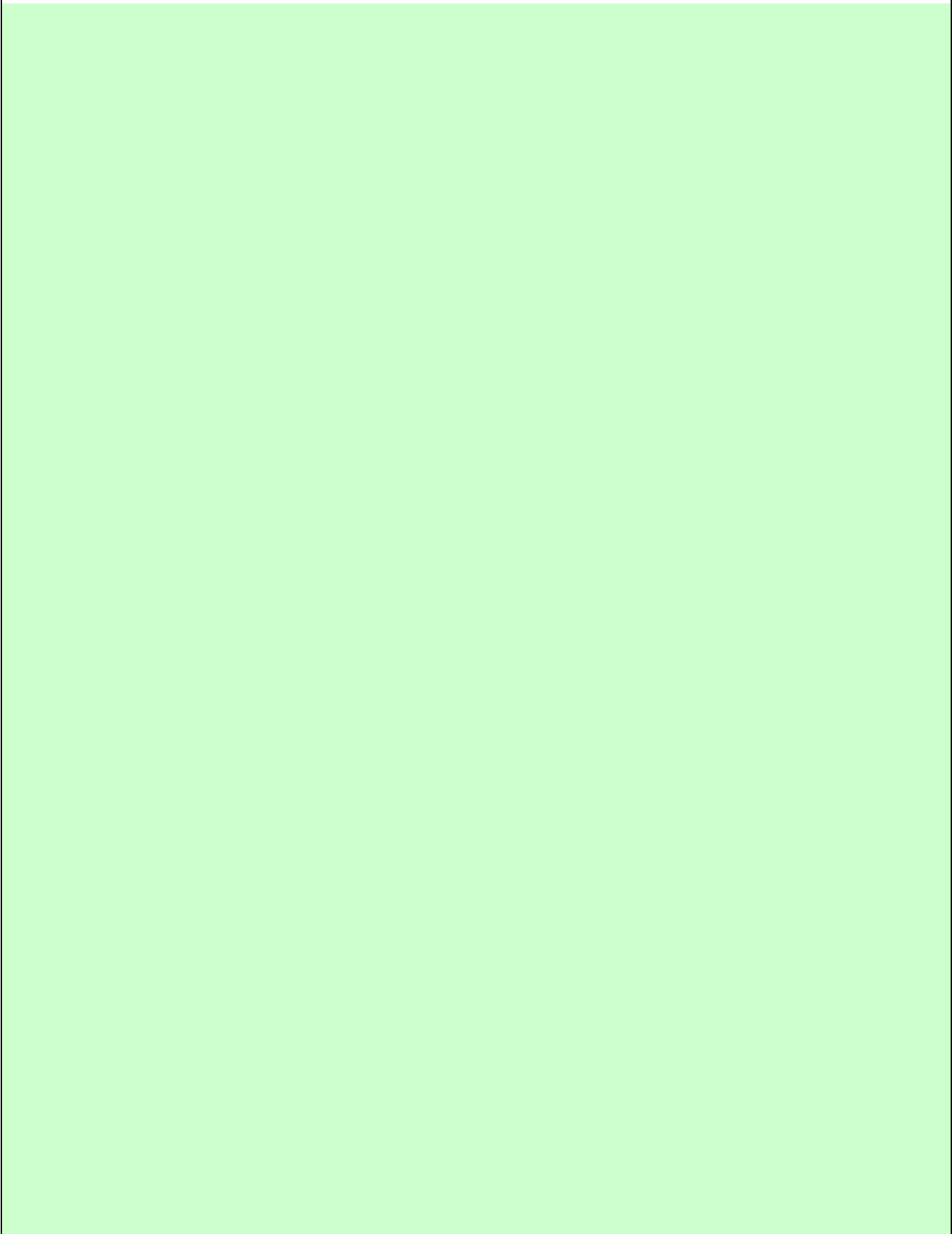
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度 (年度) 実績】		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず
① 現状	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類	コンクリートくず・陶磁器	非金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
① 現状	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類	コンクリートくず・陶磁器	非金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度 (令和4 年度) 実績】		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず
① 現状	全処理委託量	5.60	306.22	765.33	3.63	207.46	372.32	29.72	0.03
	優良認定処理業者への処理委託量	5.60	291.27	765.33	3.63	207.46	190.45	29.72	
	再生利用業者への処理委託量		56.53				168.84	29.41	
	認定熱回収業者への処理委託量		6.00						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	5.60	165.55	113.73	3.63	207.46	174.78	0.31	
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず・陶磁器	非金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物				
② 計画	全処理委託量	0.57	12.16	2.77	5.95				
	優良認定処理業者への処理委託量	0.07		0.18	1.42				
	再生利用業者への処理委託量								
	認定熱回収業者への処理委託量								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず・陶磁器	非金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物				
(これまでに実施した取組)									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物発生量を各装置・工程ごとに把握し、原材料包材・プロセス・工程・包装出荷形態の見直しを行い、廃棄物発生量の抑制を図る。 ・ 確実な運転管理を通じて突発停止、トラブル防止、触媒寿命の延命などを行い、廃棄物の削減を進める。 ・ リサイクル、有価取引を増やすアクションプランを策定し、実行する。 ・ 廃棄物原単位の改善に取り組む・廃棄物発生量を各装置・工程ごとに把握し、原材料包材・プロセス・工程・包装出荷形態の見直しを行い、廃棄物発生量の抑制を図る。 									

【目標】											
① 計画	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず		
	全処理委託量	2.00	393.90	1,378.50	0.00	2,414.60	248.30	21.40	12.70		
	優良認定処理業者への処理委託量	2.00	374.21	765.33	0.00	2,414.60	124.15	21.40			
	再生利用業者への処理委託量		78.78				111.74		12.70		
	認定熱回収業者への処理委託量		7.88								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2.00	216.65	206.78	0.00	2,414.60	114.22	0.21			
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	非金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物						
	全処理委託量	0.50	0.00	18.40	6.10						
	優良認定処理業者への処理委託量	0.50	0.00	1.20	1.50						
	再生利用業者への処理委託量										
認定熱回収業者への処理委託量											
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量											
(今後実施する予定の取組)											
<ul style="list-style-type: none"> ・優良認定処理業者、認定熱回収業者への委託化を進める。 											
※事務処理欄											



産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	三菱瓦斯化学株式会社執行役員新潟工場長 橋本 晃男	提出者の住所	新潟県新潟市北区松浜町3500番地
事業場の名称	三菱瓦斯化学株式会社 新潟工場	事業場の所在地	新潟県新潟市北区松浜町3500番地
内容年度	令和4 年度		

(単位:トン)

廃棄物の種類	現状 ／ 計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況				
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量			
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J
燃え殻	現状	5.60					5.60	5.60			5.60
	計画	2.00					2.00	2.00			2.00
汚泥	現状	306.22					306.22	291.27	56.53	6.00	165.55
	計画	393.90					393.90	374.21	78.78	7.88	216.65
廃油	現状	765.33					765.33	765.33			113.73
	計画	1,378.50					1,378.50	765.33			206.78
廃酸	現状	3.63					3.63	3.63			3.63
	計画	0.00					0.00	0.00			0.00
廃アルカリ	現状	207.46					207.46	207.46			207.46
	計画	2,414.60					2,414.60	2,414.60			2,414.60
廃プラスチック類	現状	372.32					372.32	190.45	168.84		174.78
	計画	248.30					248.30	124.15	111.74		114.22
木くず	現状	29.72					29.72	29.72	29.41		0.31
	計画	21.40					21.40	21.40			0.21
金属くず	現状	0.03					0.03				
	計画	12.70					12.70		12.70		
ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	現状	0.57					0.57	0.07			
	計画	0.50					0.50	0.50			
非金属くず	現状	12.16					12.16				
	計画	0.00					0.00	0.00			
安定型混合廃棄物	現状	2.77					2.77	0.18			
	計画	18.40					18.40	1.20			
管理型混合廃棄物	現状	5.95					5.95	1.42			
	計画	6.10					6.10	1.50			
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
合計	現状	1,711.76					1,711.76	1,495.13	254.78	6.00	671.06
	計画	4,496.40					4,496.40	3,704.89	203.22	7.88	2,954.45